

## ■第4回あきたスマートシティ協議会 議事録

日時	平成 23 年 11 月 29 日（火） 15：30～17:30	
場所	秋田市議場棟	
参加者 (敬称略)	検討会	NPO 法人科学協力学際センター：川添理事長（委員長） 東北大学大学院環境科学研究科：古川准教授 東北電力株式会社 秋田営業所：寒河江副所長 東部ガス株式会社 秋田支社：佐藤副支社長 一般社団法人あきた地球環境会議：福岡事務局長 秋田県生活環境部温暖化対策課：高橋課長（代理：池田班長） 日本アイ・ビー・エム株式会社：長田 BSP（代理：佐藤 ICP） ジョンソンコントロールズ インク：三田村ディレクター（代理：歳弘シニア・マネージャー） アイ・エム・サービス株式会社：大山取締役統括部長 コクヨ株式会社 RDI センター：飯沼課長 秋田市環境部：佐藤部長 株式会社日本総合研究所：小長井 計 12 名（順不同、敬称略）
	委員	
	事務局	秋田市環境部、株式会社日本総合研究所
配布資料	資料 1：あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会委員名簿 資料 2：情報統合管理基盤導入導入事業の状況報告 資料 3：地域 ESCO 事業について 資料 4：環境リーダー・ビジョンワーキンググループ 活動報告 資料 5：地産エネルギー・グリーンツーリズムワーキンググループ 活動報告 資料 6：低炭素モビリティ・電子地域通貨ワーキンググループ 活動報告 資料 7：新庁舎建設との連携について 資料 8：第 3 回あきたスマートシティ推進協議会議事録	

## 議題（1）情報統合管理基盤導入事業の状況報告

事務局より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ データ収集の方法について。センターを設置した施設（5 施設）以外の施設については、当面請求書を参照して手入力を行う。
- ・ マスコミ報道では、道路や橋梁など社会インフラの管理も行う予定とあったが、来年度事業の対象ではなく、将来的な構想として予定している。
- ・ 「情報統合基盤」の名称だと、秋田市の全ての情報を統合する情報システムと誤解される可能性があるため、名称の変更も検討する。

## 議題（２）地域 ESCO 事業について

事務局より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ パイロット事業の対象施設の選定については、基本的にはエネルギー削減効果の多い施設を選定したが、山王中学については太陽光発電による省エネ施策の可能性の検討のため選定をした。

## 議題（３）ワーキンググループの活動報告について

### ①環境リーター・ビジョンワーキング

WG 長より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ 90 歳ヒアリングの成果は今後新庁舎建設に活かす予定であるが、スマートシティの成果であることが分かるような形にする。

### ②地産エネルギー・グリーンツーリズムワーキング

WG 長代理より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ 木質バイオマスのエネルギー利用は、新日鉄が釜石市で行っている。他地域の事例も参考にする。

### ③低炭素モビリティ・電子地域通貨ワーキング

WG 長代理より資料の説明後討議を行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ IC カードでお金が落ちる仕組みを考えることが重要。
- ・ EV 導入が本当に低炭素化となるか検討が必要。

## 議題（４）その他連絡事項

- ・ 次回協議会は 2 月～3 月。開催日は追って調整する。

以上